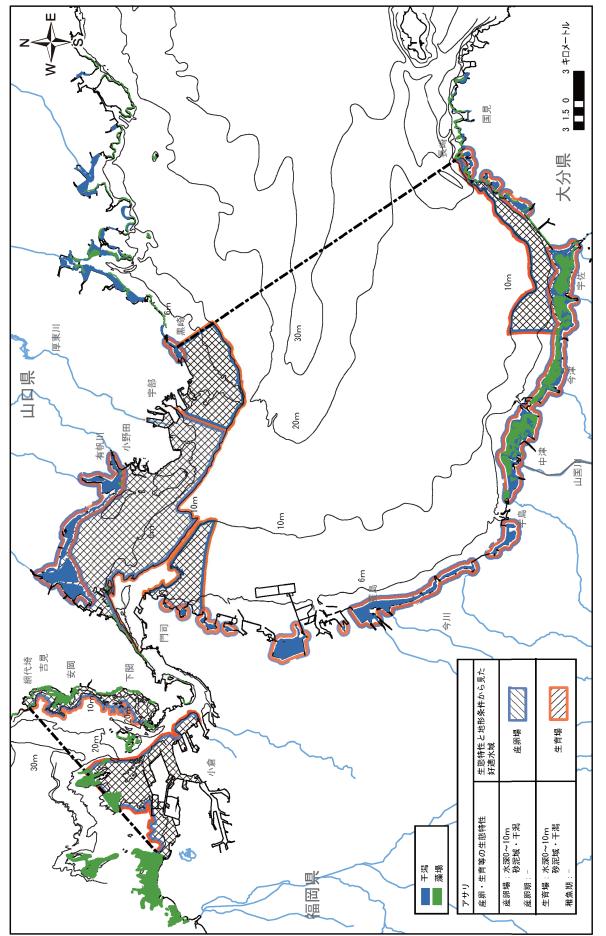
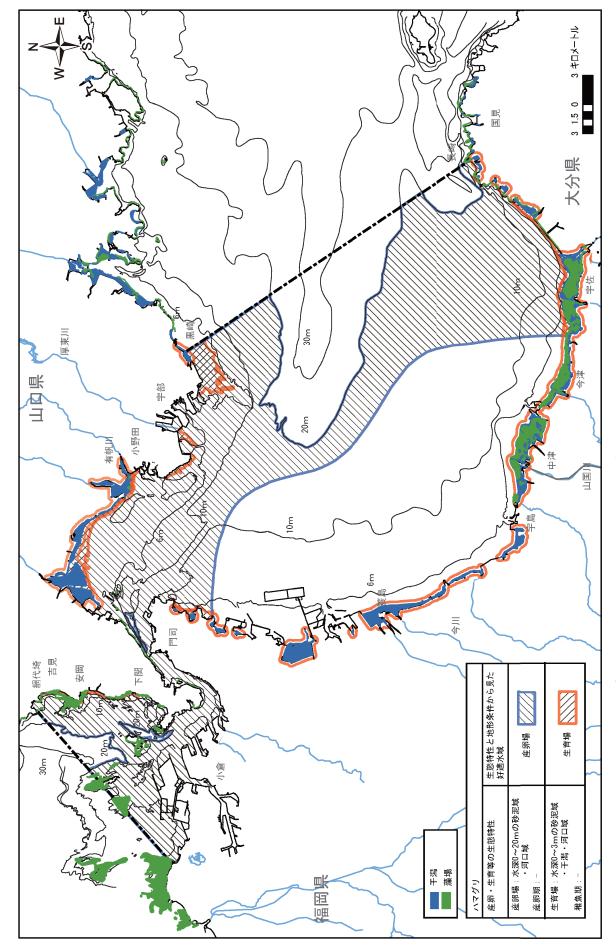


クルマエビの生態特性・海域の地理条件及び水質条件から見た好適な水域(産卵場·生育場) (9) 6 🔀



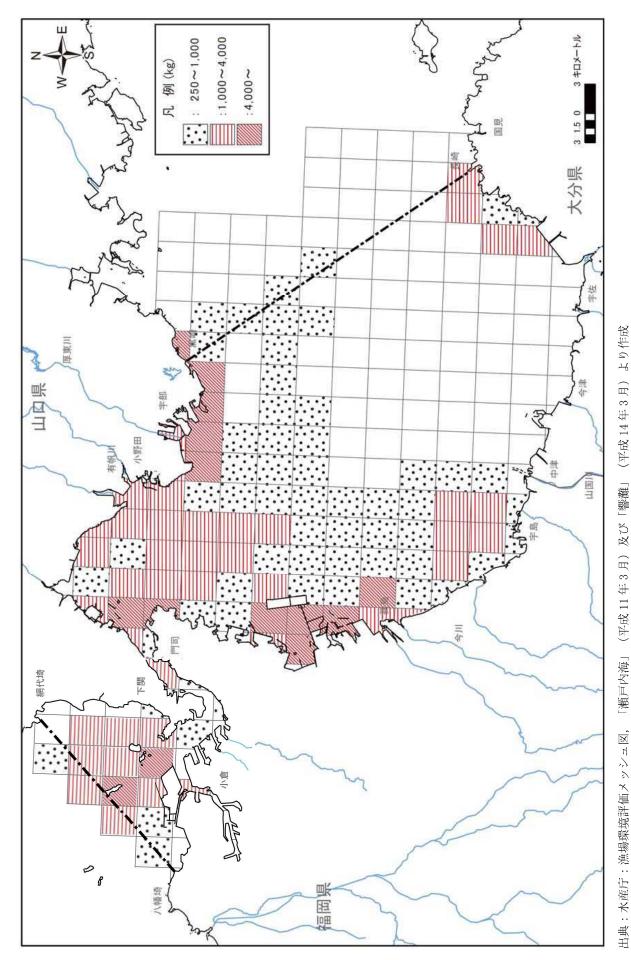
アサリの生態特性・海域の地理条件及び水質条件から見た好適な水域(産卵場・生育場) 図3.9(7)



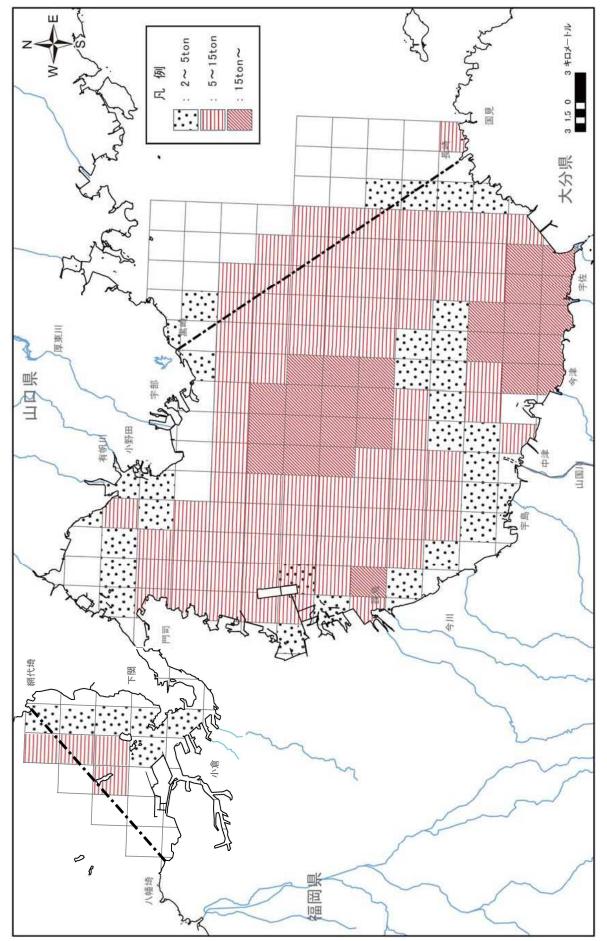
ハマグリの生態特性・海域の地理条件及び水質条件から見た好適な水域(産卵場·生育場) 9 (8)

表 3.6 主要魚介類 8 種の漁場分布からみた干潟 - 藻場等の利用状況

魚種	産卵場として利用されていると考えられる干潟・藻場等
スズキ	周防灘北部の浅場、藻場、干潟、周防灘南部の浅場、干潟、響灘南部の 浅場
カレイ類(マコガレ イ・イシガレイ)	周防灘北部の浅場、周防灘南部の浅場、周防灘南部の干潟及び藻場、響 灘北部・南部の浅場、響灘北部の藻場
マダイ	周防灘南岸の干潟・藻場、響灘北部・南部の浅場、響灘北部の藻場
ガザミ	周防灘北部の浅場、周防灘南部の浅場、周防灘南部の干潟及び藻場
クルマエビ	周防灘北部の浅場、周防灘南部の浅場、周防灘南部の干潟及び藻場
アサリ	周防灘北岸の干潟、周防灘南部の浅場、周防灘南岸の干潟
ハマグリ	周防灘南岸の干潟



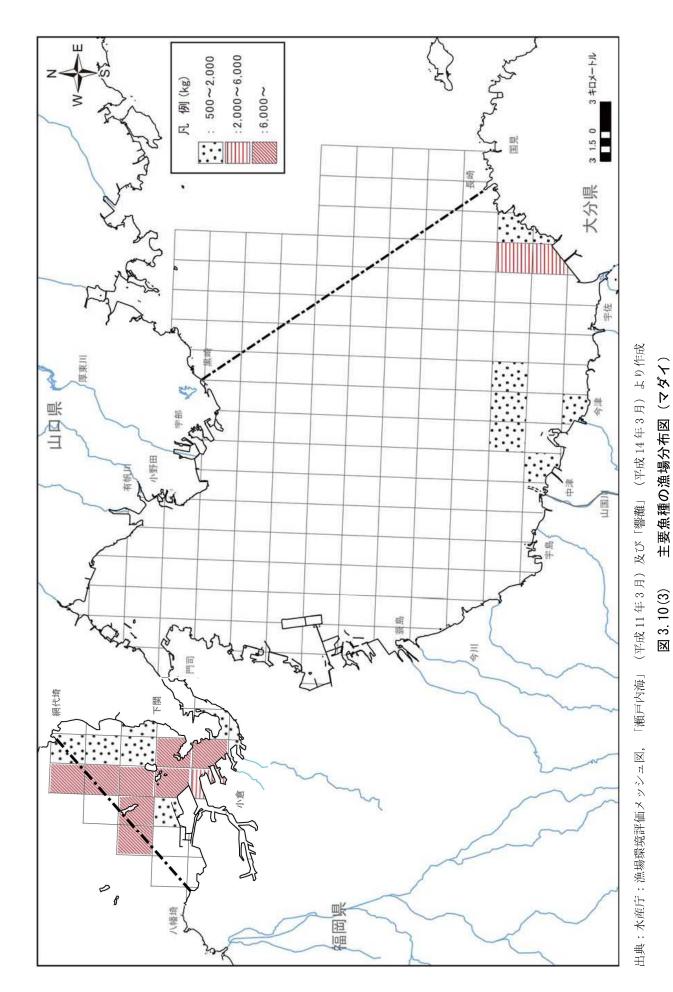
主要魚種の漁場分布図(スズキ) 図3.10(1)



「瀬戸内海」(平成11年3月)及び「響灘」(平成14年3月)より作成 出典:水産庁:漁場環境評価メッシュ図,

図3.10(2)

主要魚種の漁場分布図(カレイ類)



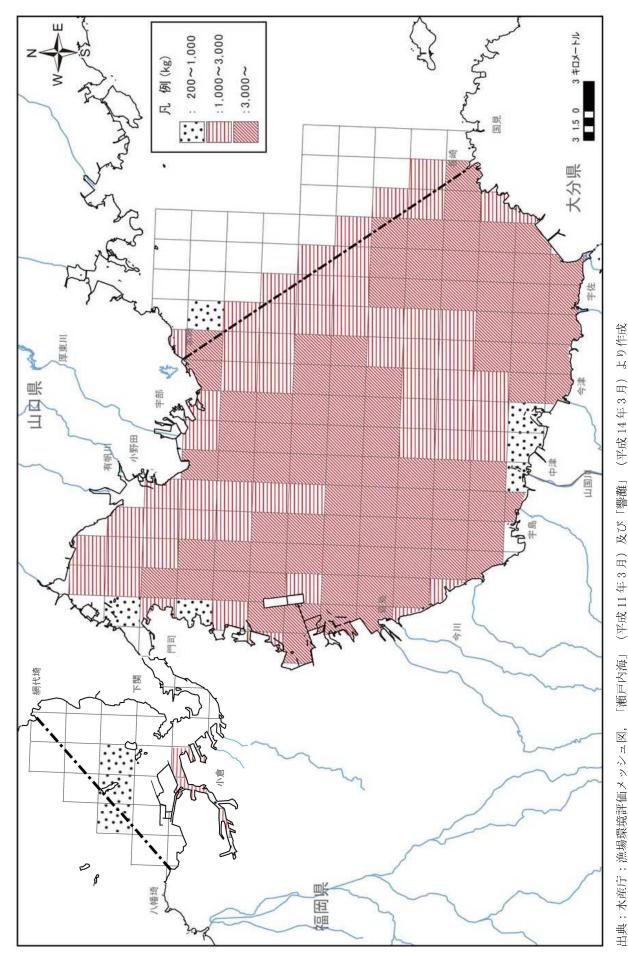
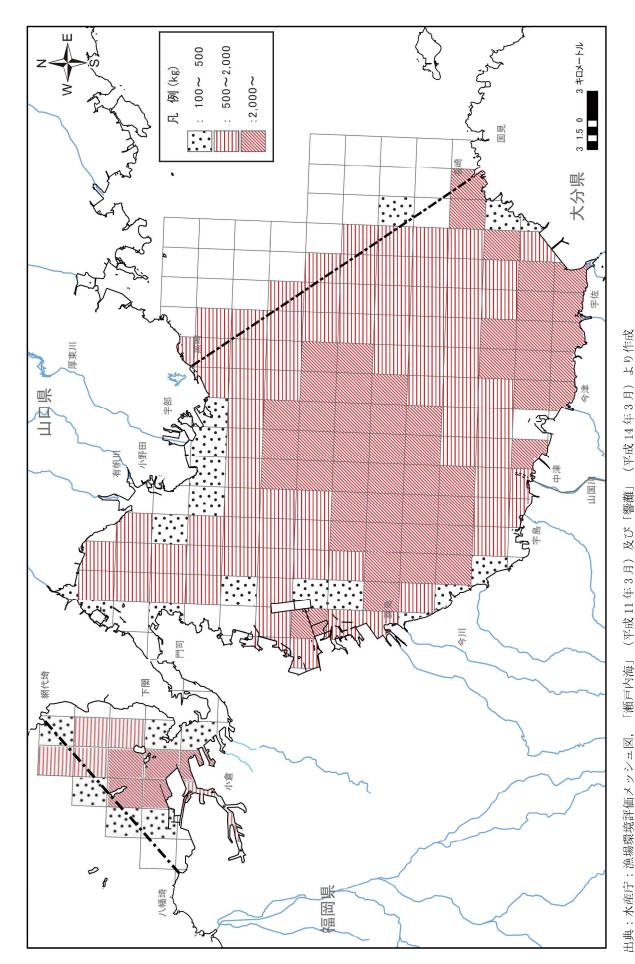
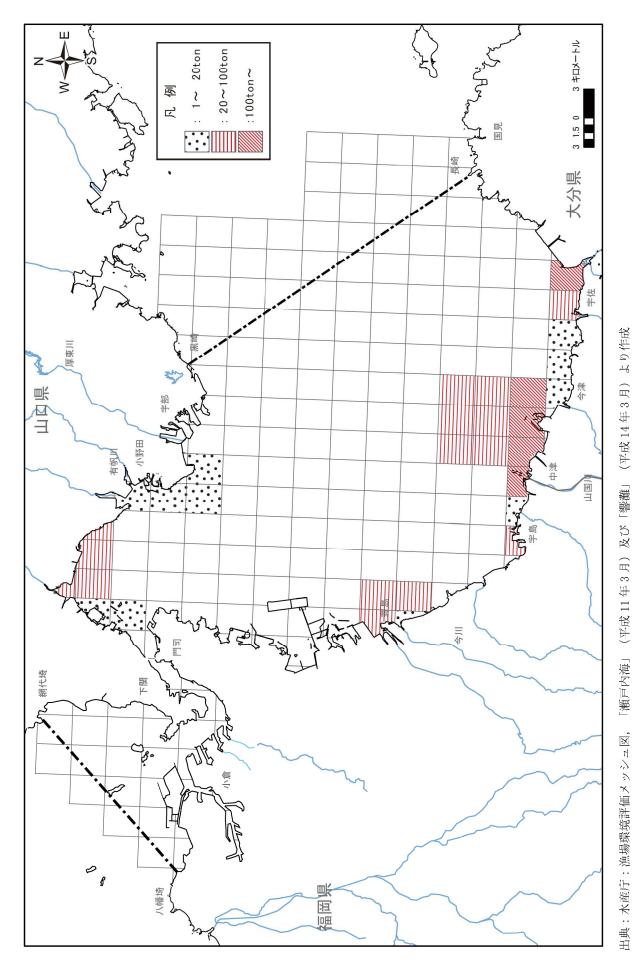


図3.10(4)

主要魚種の漁場分布図(ガザミ)

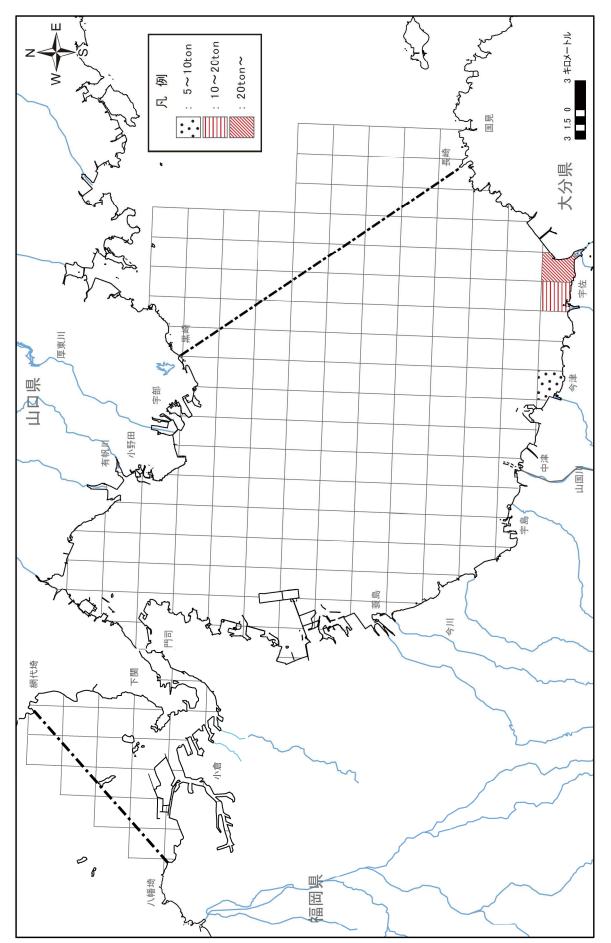


主要魚種の漁場分布図(クルマエビ) 図 3.10(5)



主要魚種の漁場分布図(アサリ) 図3.10(6)

152



出典:水産庁:漁場環境評価メッシュ図, 「瀬戸内海」(平成11年3月)及び「響灘」(平成14年3月)より作成

図3.10(7)

主要魚種の漁場分布図(ハマグリ)

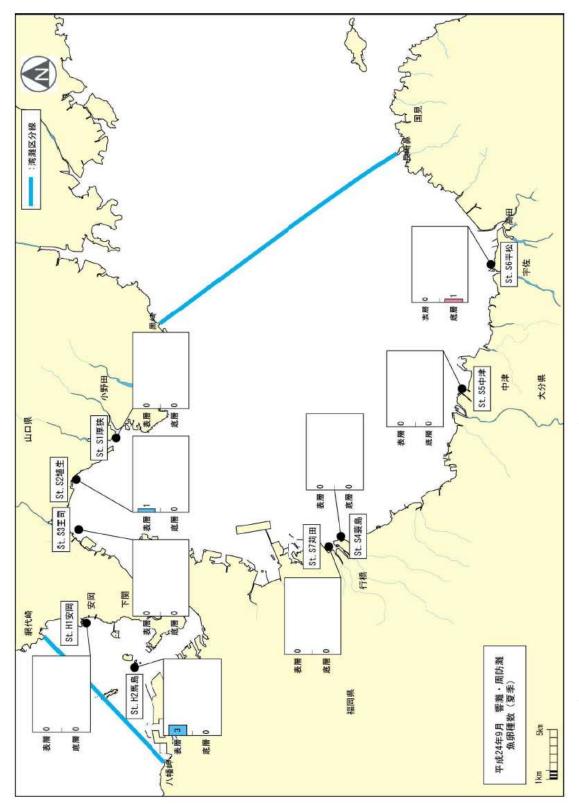
表 3.7 主要魚種の産卵場及び生育場について

主要魚種名	現地調査結果等のまとめ
スズキ	周防灘北部の浅場、藻場、干潟、周防灘南部の浅場、干潟、響灘南部の浅場
カレイ類(マコ ガレイ・イシガ レイ)	周防灘北部の浅場、周防灘南部の浅場、周防灘南部の干潟及び藻場、響灘北部・南部の浅場、響灘北部の藻場
マダイ	生育場として、周防灘南岸の干潟・藻場、響灘北部・南部の浅場、響灘北部 の藻場。既存資料より、主な産卵場の可能性は低いと判断した。
ガザミ	周防灘北部の浅場、周防灘南部の浅場、周防灘南部の干潟及び藻場
クルマエビ	周防灘北部の浅場、周防灘南部の浅場、周防灘南部の干潟及び藻場
アサリ	周防灘北岸の干潟、周防灘南部の浅場、周防灘南岸の干潟
ハマグリ	周防灘南岸の干潟

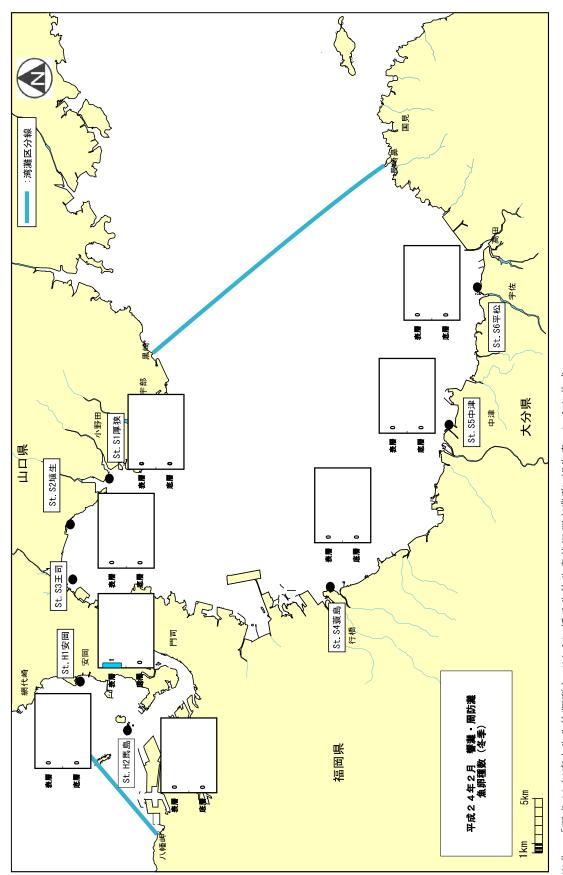
既存資料:漁場環境評価メッシュ図,瀬戸内海(平成11年3月、水産庁)

我が国周辺水域の漁業資源評価(平成27年、水産庁・水産総合研究センター)

出典:「平成24年度水生生物類型あてはめに係る生物生息状況調査業務報告書」により作成



出典:「平成 24 年度水生生物類型あてはめに係る生物生息状況調査業務 報告書」により作成 図 3.11(1) 無**卵種数の出現状況(夏季**)

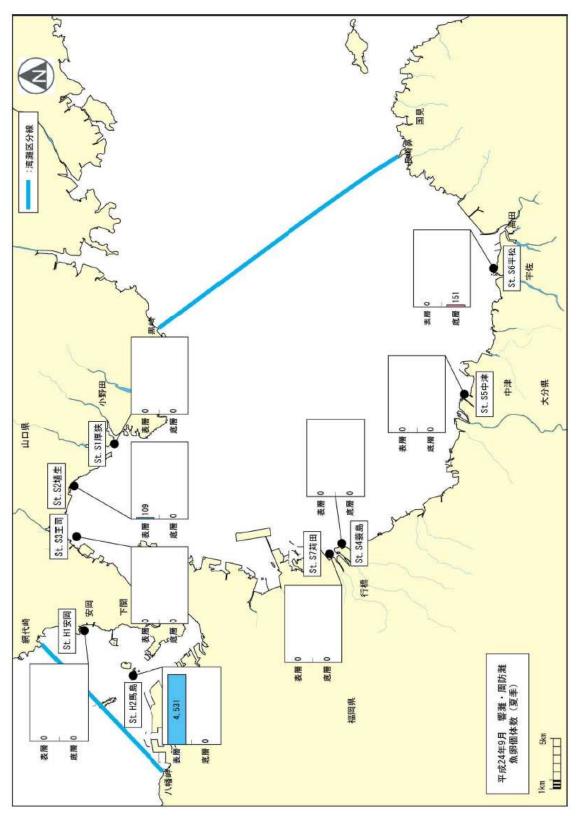


出典:「平成23年度水生生物類型あてはめに係る生物生息状況調査業務 報告書」により作成

魚卵種数の出現状況(冬季)

図3.11(2)

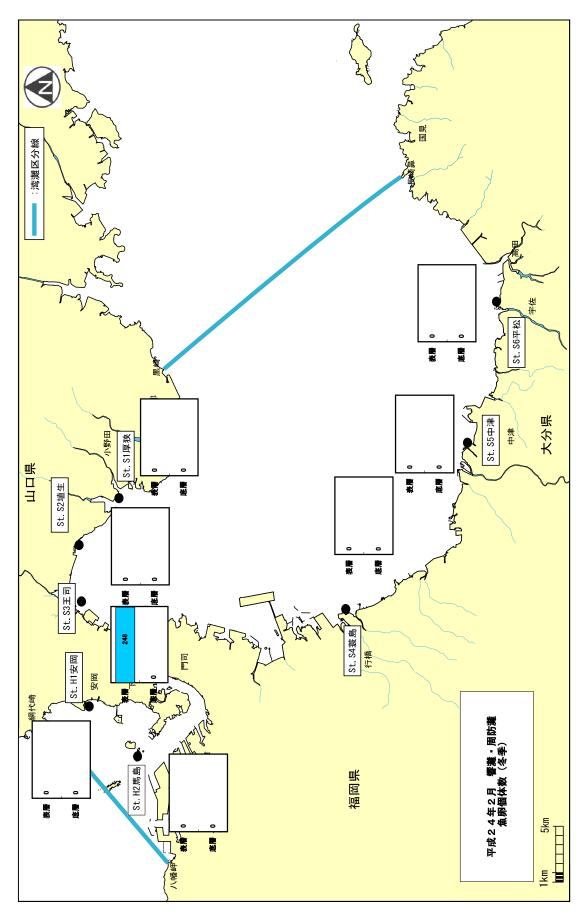
156



出典:「平成24年度水生生物類型あてはめに係る生物生息状況調査業務 報告書」により作成 (図中の数値の単位:個体数/1,000m3)

魚卵個体数の出現状況(夏季)

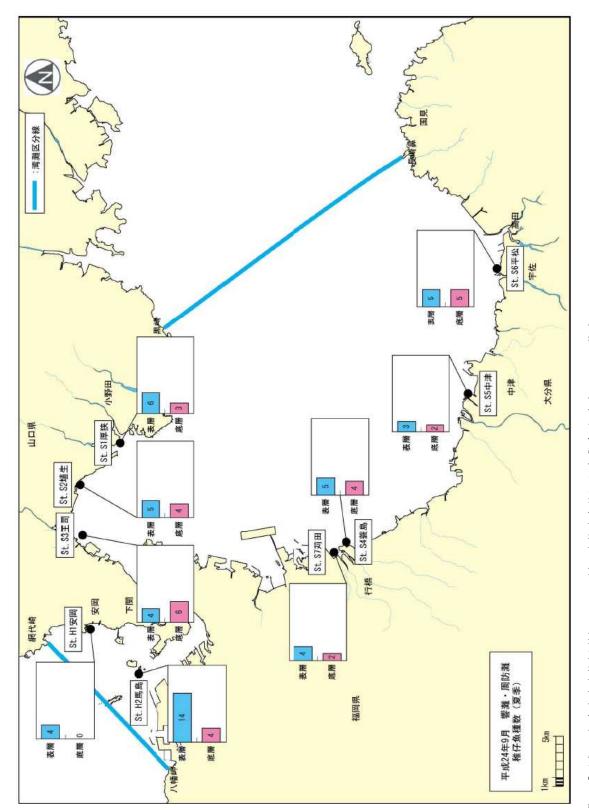
⊠ 3. 11 (3)



出典: 「平成 23 年度水生生物類型あてはめに係る生物生息状況調査業務 報告書」により作成(図中の数値の単位:個体数/1,000m3)

図3 11(4)

魚卵個体数の出現状況(冬季)

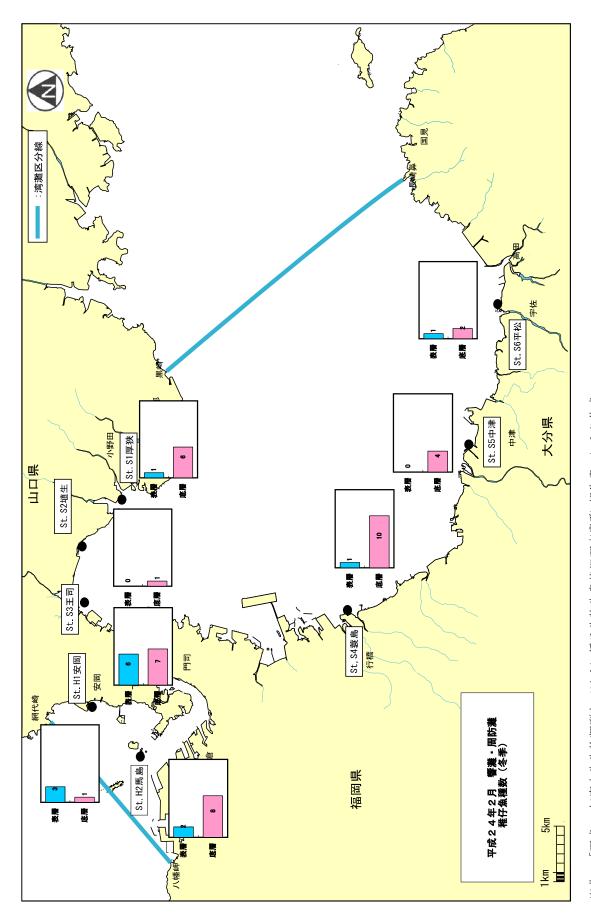


出典:「平成 24 年度水生生物類型あてはめに係る生物生息状況調査業務 報告書」により作成

⊠ 3.11(5)

(夏季)

稚仔魚種数の出現状況



出典: 「平成23年度水生生物類型あてはめに係る生物生息状況調査業務 報告書」により作成

稚仔魚種数の出現状況(冬季)

図3.11(6)